

平成21年10月期 第2四半期決算短信

平成21年6月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 京王ズホールディングス
 コード番号 3731 URL <http://www.keiozu.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長
 四半期報告書提出予定日 平成21年6月12日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 佐々木 英輔
 (氏名) 深野 道照

TEL 022-722-0333

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年10月期第2四半期の連結業績(平成20年11月1日～平成21年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年10月期第2四半期	6,379	—	156	—	206	—	145	—
20年10月期第2四半期	6,903	△16.0	65	△36.7	41	△45.1	52	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年10月期第2四半期	3,380.84	3,152.50
20年10月期第2四半期	1,564.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年10月期第2四半期	5,448	1,379	24.0	28,261.74
20年10月期	5,879	1,207	19.4	26,833.21

(参考) 自己資本 21年10月期第2四半期 1,307百万円 20年10月期 1,138百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年10月期	—	0.00	—	—	—
21年10月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年10月期の連結業績予想(平成20年11月1日～平成21年10月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,708	△7.2	256	65.2	185	81.4	151	88.8	3,578.24

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご参照ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご参照ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|--------------|---------|--------------|---------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 21年10月期第2四半期 | 47,446株 | 20年10月期 | 42,418株 |
| ② 期末自己株式数 | 21年10月期第2四半期 | 1,185株 | 20年10月期 | —株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 21年10月期第2四半期 | 43,022株 | 20年10月期第2四半期 | 33,415株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・業績予測に記載した予測数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により記載数値と異なる場合があります。
- ・平成21年10月期の配当につきましては、現時点では未定であります。決定次第、開示いたします。
- ・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(連結経営成績サマリー)

(百万円未満切捨て)

	平成20年10月期 第2四半期	平成21年10月期 第2四半期	前年同期比 (%)
売上高	6,903百万円	6,379百万円	△7.6
営業利益	65百万円	156百万円	139.9
経常利益	41百万円	206百万円	399.4
四半期純利益	52百万円	145百万円	178.2

(注) 定性的情報における前年数値及び比率は参考として記載しております。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、サブプライムローン問題等による国際金融市場の混乱、急激な為替相場の変動、原油・資源価格の乱高下等を原因とする世界的な景気後退の波が日本を直撃し、企業収益は急激に悪化いたしました。個人消費につきましても、雇用情勢の悪化等の先行き不透明感から購買意欲の低下に拍車が掛かっております。

このような状況の中、当社グループは前期から引き続いてコストの削減に努め、販売費及び一般管理費合計は773百万円（前年同期比13.9%減）となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は6,379百万円（前年同期比7.6%減）となりましたが、営業利益は156百万円（前年同期比139.9%増）、経常利益は206百万円（前年同期比339.4%増）、四半期純利益は145百万円（前年同期比178.2%増）となっております。

事業の種類別セグメントにおける業績は、以下のとおりです。

① 移動体通信事業

・売上高	6,170百万円	(前年同期比4.1%減)
・営業利益	298百万円	(前年同期比174.3%増)

移動体通信事業につきましては、新規販売台数に若干伸び悩みが見られましたが、機種変更台数は順調に推移しました。昨年8月に行いました新潟地区7店舗の譲渡の影響もあり、売上高は6,170百万円（前年同期比4.1%減）と前年を下回りましたが、前期に行いましたコスト改善効果により、営業利益298百万円（前年同期比174.3%増）となりました。

② テレマーケティング事業

・売上高	148百万円	(前年同期比63.0%減)
・営業利益	△84百万円	(前年同期比 —)

テレマーケティング事業につきましては、AIGグループの諸問題の他、保険契約件数が計画より減少したため営業損失とはなっておりますが、秋田コールセンターを仙台の西多賀コールセンターに集約することにより、コスト改善、効率改善の準備を進めております。なお、秋田コールセンター統合に伴い、店舗整理損45百万円を計上しております。また、ストックコミッションの一部譲渡により、財務体質の改善も進めております。そのため、売上高148百万円（前年同期比63.0%減）、営業損失84百万円（前年同期は8百万円の利益）となりました。

③ 不動産賃貸事業

・売上高	61百万円	(前年同期比11.8%減)
・営業利益	17百万円	(前年同期比21.2%増)

不動産賃貸事業につきましては、管理コストの削減および減価償却費の低下により、売上高は61百万円（前年同期比11.8%減）、営業利益は17百万円（前年同期比21.2%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(百万円未満切捨て)

	平成20年10月期末 (平成20年10月31日)	平成21年10月期 第2四半期末 (平成21年4月30日)	増減額
資産合計	5,879百万円	5,448百万円	△431百万円
負債合計	4,672百万円	4,068百万円	△604百万円
純資産合計	1,207百万円	1,379百万円	172百万円

当第2四半期連結会計期間末における資産の状況は、前連結会計年度末と比較して、流動資産は301百万円減少し1,970百万円、固定資産は130百万円減少し3,477百万円となりました。これは主に売上債権の減少、のれんの償却によるものであります。その結果、総資産額は431百万円減少し、5,448百万円となりました。

負債の状況は、流動負債は435百万円減少し3,050百万円、固定負債は168百万円減少し1,017百万円となりました。これは主に買掛金の減少、借入金の返済によるものであります。その結果、負債総額は604百万円減少し4,068百万円となりました。

純資産の状況は、172百万円増加し、1,379百万円となりました。これは主に四半期純利益の計上によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

(百万円未満切捨て)

	平成20年10月期 第2四半期	平成21年10月期 第2四半期	前年同期比 (%)
営業活動による キャッシュ・フロー	248百万円	283百万円	14.0
投資活動による キャッシュ・フロー	6百万円	206百万円	2,985.6
財務活動による キャッシュ・フロー	△233百万円	△309百万円	32.5

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して180百万円増加し248百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、283百万円となりました。これは主に売上債権の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、206百万円となりました。これは主に定期預金の払戻しによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、309百万円となりました。これは主に短期借入金の返済によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年10月期の通期業績予想につきましては、現在の経済状況に先行きが不透明なことがあり、また、テレマーケティング事業における新体制の確立を進めているところであるため、通期業績予想につきましては現時点では変更していません。精査でき次第発表いたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

(固定資産の減価償却費の算定方法)

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっています。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、移動平均による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)が適用されたことに伴い、移動平均による原価法(収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。これによる損益に与える影響はありません。

③ 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月30日 企業会計基準第13号)および「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号)が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用できることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの基準を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。これによる損益に与える影響はありません。

なお、リース取引開始日が適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

表示方法の変更

(連結貸借対照表)

前連結会計年度において流動負債の「仮受金」に含めておりました移動体通信事業における料金収納金等172百万円は、取引実態をより明瞭に示すため、第1四半期連結会計期間より流動負債の「預り金」に含めて表示しております。

5 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年4月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	358,999	368,753
売掛金	1,082,757	1,516,295
商品	166,094	99,669
その他	362,998	290,877
貸倒引当金	—	△3,550
流動資産合計	1,970,849	2,272,044
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	418,236	447,189
車両運搬具(純額)	2,922	3,476
工具、器具及び備品(純額)	75,691	97,243
土地	580,246	580,246
建設仮勘定	4,725	4,725
有形固定資産合計	1,081,822	1,132,880
無形固定資産		
のれん	1,855,826	1,909,149
その他	118,594	134,251
無形固定資産合計	1,974,421	2,043,401
投資その他の資産		
長期貸付金	105,145	115,790
敷金及び保証金	298,963	303,356
その他	24,169	14,291
貸倒引当金	△6,836	△1,785
投資その他の資産合計	421,442	431,652
固定資産合計	3,477,686	3,607,934
資産合計	5,448,536	5,879,979

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年4月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	831,706	1,101,667
短期借入金	992,000	1,265,000
1年内返済予定の長期借入金	347,005	286,088
未払金	336,392	307,812
預り金	220,392	32,779
仮受金	—	241,440
賞与引当金	24,326	25,304
短期解約違約金損失引当金	2,749	5,964
未払法人税等	18,967	25,503
未払消費税等	75,037	53,764
その他	202,093	140,996
流動負債合計	3,050,670	3,486,321
固定負債		
社債	250,000	275,000
長期借入金	719,530	803,804
その他	48,442	107,581
固定負債合計	1,017,973	1,186,385
負債合計	4,068,643	4,672,706
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,145,988	1,983,550
資本剰余金	769,662	1,947,645
利益剰余金	△598,435	△2,792,984
自己株式	△9,798	—
株主資本合計	1,307,416	1,138,211
新株予約権	166	—
少数株主持分	72,309	69,061
純資産合計	1,379,892	1,207,272
負債純資産合計	5,448,536	5,879,979

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年11月1日 至平成21年4月30日)
売上高	6,379,634
売上原価	5,450,354
売上総利益	929,279
販売費及び一般管理費	
給料手当及び賞与	367,425
賞与引当金繰入額	21,870
福利厚生費	53,876
地代家賃	109,031
その他	220,856
販売費及び一般管理費合計	773,060
営業利益	156,219
営業外収益	
受取利息	3,254
出資金運用益	3,946
コミッション譲渡益	84,824
その他	4,394
営業外収益合計	96,420
営業外費用	
支払利息	30,340
新株発行費	5,958
その他	10,027
営業外費用合計	46,326
経常利益	206,312
特別利益	
固定資産売却益	1,208
特別利益合計	1,208
特別損失	
店舗整理損	52,042
貸倒引当金繰入額	1,500
減損損失	186
特別損失合計	53,729
税金等調整前四半期純利益	153,792
法人税等合計	5,093
少数株主利益	3,248
四半期純利益	145,450

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年11月1日 至平成21年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	153,792
減価償却費	66,647
減損損失	186
のれん償却額	53,322
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,500
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△978
短期解約違約金損失引当金の増減額 (△は減少)	△3,215
受取利息及び受取配当金	△3,254
支払利息	32,335
固定資産売却損益 (△は益)	△1,208
店舗整理損	52,042
売上債権の増減額 (△は増加)	433,537
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△66,425
仕入債務の増減額 (△は減少)	△269,960
預り金の増減額 (△は減少)	187,612
仮受金の増減額 (△は減少)	△241,440
その他	△89,314
小計	305,179
利息及び配当金の受取額	4,678
利息の支払額	△18,960
法人税等の支払額	△7,672
法人税等の還付額	7
営業活動によるキャッシュ・フロー	283,232
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△10,000
定期預金の払戻による収入	200,000
有形固定資産の取得による支出	△10,113
有形固定資産の売却による収入	1,208
無形固定資産の取得による支出	△6,292
敷金及び保証金の差入による支出	△3,128
敷金及び保証金の回収による収入	6,939
貸付金の回収による収入	27,625
投資活動によるキャッシュ・フロー	206,239

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
 (自 平成20年11月1日
 至 平成21年4月30日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	5,000
短期借入金の返済による支出	△278,000
長期借入れによる収入	100,000
長期借入金の返済による支出	△123,356
社債の償還による支出	△25,000
自己株式の取得による支出	△9,798
配当金の支払額	△4
新株予約権の発行による収入	△5,958
新株予約権の行使による株式の発行による収入	33,720
その他	△5,948
財務活動によるキャッシュ・フロー	△309,346
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	180,125
現金及び現金同等物の期首残高	68,424
現金及び現金同等物の四半期末残高	248,550

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

当第2四半期連結累計期間(自平成20年11月1日至平成21年4月30日)

	移動体 通信事業 (千円)	テレマーケ ティング 事業 (千円)	不動産 賃貸事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	6,170,087	148,201	61,344	6,379,634	—	6,379,634
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	685	685	(685)	—
計	6,170,087	148,201	62,030	6,380,320	(685)	6,379,634
営業利益又は 営業損失(△)	298,500	△84,045	17,805	232,261	(76,042)	156,219

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分に属する主要な事業の内容

- (1) 移動体通信事業・・・移動体通信端末の販売、移動体通信サービスの契約取次
- (2) テレマーケティング事業・・・コールセンターによるテレマーケティング事業
- (3) 不動産賃貸事業・・・ショッピングモールのテナントからの賃貸収入事業

2. 所在地別セグメント情報

当第2四半期連結累計期間(自平成20年11月1日至平成21年4月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び支店がないため、該当事項はありません。

3. 海外売上高

当第2四半期連結累計期間(自平成20年11月1日至平成21年4月30日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成21年1月27日付で欠損補填及び分配可能額の充実のために資本金854,338千円、資本準備金1,947,645千円の減額を行っております。

また、平成21年1月28日付で自己株式の取得について決議し、当第2連結累計期間において1,185株、9,798千円の自己株式取得を行っております。さらに、第4回新株予約権の行使により、合わせて資本金が16,776千円、資本準備金が16,776千円増加しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における株主資本の変動は、以下の通りとなります。

(千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前連結会計年度末	1,983,550	1,947,645	△2,792,984	—	1,138,211
当第2四半期連結会計期間末までの変動額					
新株予約権の行使による新株発行	16,776	16,776	—	—	33,553
四半期純利益	—	—	145,450	—	145,450
自己株式の取得	—	—	—	△9,798	△9,798
資本金からその他資本剰余金への振替	△854,338	854,338	—	—	—
欠損補填	—	△2,049,098	2,049,098	—	—
当第2四半期連結会計期間末までの変動額合計	△837,562	△1,177,982	2,194,548	△9,798	169,205
当第2四半期連結会計期間末残高	1,145,988	769,662	△598,435	△9,798	1,307,416

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1)前中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年11月1日 至 平成20年4月30日)
	金額(千円)
I 売上高	6,903,815
II 売上原価	5,941,049
売上総利益	962,765
III 販売費及び一般管理費	
1 給与及び手当	415,731
2 賞与引当金繰入額	28,500
3 地代家賃	138,205
4 その他	315,221
販売費及び一般管理費	897,659
営業利益	65,106
IV 営業外収益	
1 受取利息	2,530
2 出資金利益	3,595
3 消費税還付	4,604
4 雑収入	8,140
5 その他	11,426
営業外収益合計	30,297
V 営業外費用	
1 支払利息	39,654
2 その他	14,431
営業外費用合計	54,086
経常利益	41,316
VI 特別利益	
1 店舗整理損修正益	92,051
2 その他	11,780
特別利益合計	103,832
VII 特別損失	
1 店舗整理損	47,253
2 その他	1,853
特別損失合計	49,106
税金等調整前中間純利益	96,042
法人税、住民税及び事業税	17,861
少数株主利益	25,902
中間純利益	52,278

(2) 前中間連結キャッシュ・フロー計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年11月1日 至 平成20年4月30日)
	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 税金等調整前中間純利益	96,042
2 減価償却費	84,964
3 のれん償却費	53,322
4 貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,988
5 賞与引当金の増減額 (△は減少)	△ 13,747
6 短期解約違約金損失引当金の増減額 (△は減少)	4,190
7 受取利息及び受取配当金	△ 2,530
8 支払利息	41,987
9 固定資産除却損	164
10 店舗整理損戻入金	△ 92,051
11 店舗整理損	47,253
12 売上債権の増減額 (△は増加)	168,902
13 たな卸資産の増減額 (△は増加)	△ 63,823
14 前払費用の増減額 (△は増加)	△ 1,009
15 未収入金の増減額 (△は増加)	101,488
16 未収消費税等の増減額 (△は増加)	3,970
17 未払消費税等の増減額 (△は減少)	△ 3,304
18 仕入債務の増減額 (△は減少)	119,756
19 未払金の増減額 (△は減少)	△ 88,490
20 その他	△ 172,826
小計	287,245
21 利息及び配当金の受取額	1,227
22 利息の支払額	△ 28,846
23 法人税等の支払額	△ 11,196
営業活動によるキャッシュ・フロー	248,430

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年11月1日 至 平成20年4月30日)
	金額(千円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1 有価証券の売却による収入	100
2 有形固定資産の取得による支出	△ 36,934
3 有形固定資産の売却による収入	66,749
4 無形固定資産の取得による支出	△ 63,176
5 貸付による支出	△ 8,100
6 貸付金回収による収入	24,300
7 敷金保証金の差入による支出	△ 162
8 敷金保証金の返還による収入	23,907
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,684
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 短期借入れによる収入	250,000
2 短期借入金の返済による支出	△ 270,437
3 長期借入金の返済による支出	△ 387,000
4 長期未払金の返済による支出	△ 60,028
5 社債の償還による支出	△ 75,000
6 配当金の支払額	△ 40
7 株式発行による収入	314,254
8 新株予約権の買入消却による支出	△ 5,220
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 233,472
IV 現金及び現金同等物の増減額	21,641
V 現金及び現金同等物の期首残高	300,804
VI 現金及び現金同等物の中間期末残高	322,446

(3) セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

前中間連結会計期間(自 平成19年11月1日 至 平成20年4月30日)

	移動体 通信事業 (千円)	テレマーケ ティング 事業 (千円)	不動産 賃貸事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	6,434,090	400,174	69,550	6,903,815	—	6,903,815
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	685	685	△685	—
計	6,434,090	400,174	70,236	6,904,501	△685	6,903,815
営業利益又は 営業損失(△)	108,807	8,879	14,685	132,372	△67,266	65,106

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分に属する主要な事業の内容

- (1) 移動体通信事業・・・移動体通信端末の販売、移動体通信サービスの契約取次
- (2) テレマーケティング事業・・・コールセンターによるテレマーケティング事業
- (3) 不動産賃貸事業・・・ショッピングモールのテナントからの賃貸収入事業

2. 所在地別セグメント情報

前中間連結会計期間(自 平成19年11月1日 至 平成20年4月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び支店がないため、該当事項はありません。

3. 海外売上高

前中間連結会計期間(自 平成19年11月1日 至 平成20年4月30日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。